

## 2 川越親愛センター 事業報告（平成 29 年度）

### 1 経営方針に関わる概要

今年度も「契約書」「重要事項説明書」に基づいて「個別支援計画」を作成し、個々の自立支援・生活支援プログラムにより支援を行い、随時見直しや3ヶ月ごとの支援説明会で確認し進めた。

#### (1) [施設の基本目標]

「利用者の人権を大切にする」「利用者・家族・地域から信頼を得られるサービスを提供する」「地域との連携、福祉拠点としての役割を果たす」の3点を掲げた。また、基本方針として「笑顔と誠実な対応」「気配り目配り安全管理」「報告・連絡・相談の徹底」を掲げた。利用者の意向・障がい特性・心身の状態に即した、利用者本位の支援を目指すとともに、利用者・職員の危険予防のためにも危機管理意識を強化し、事故防止に努め、きめの細かい支援を心がけた。

#### (2) [利用者]

平成 29 年度は施設入所支援在籍 40 名、生活介護在籍 65 名でスタートした。平均年齢は、入所部 49.1 歳、通所部は 41.9 歳となり、65 歳以上が 10 名（入所部 6 名、通所部 4 名）、50 歳以上が 26 名（入所部 18 名、通所部 8 名）と高齢化してきている。特に入所部の利用者は生活面での支援時間を必要とされる方が増え、常時車椅子を必要とする方が 1 名となっている。疾病による途中退所者が 1 名、入院中に医療機関で逝去された方が 1 名いた。そのため、短期入所を長年利用していた在宅の方 2 名を受け入れた結果、3 月 31 日付けの生活介護在籍者は 65 名となった。

#### (3) [行事]

利用者自治会で選んでいただいた利用者の希望による選択外出を実施した他、招待行事、季節の行事に積極的に参加し余暇の充実を図った。今年度の旅行は、日帰りコース「横浜方面（カップヌードルミュージアム）」、「東京方面（お台場・東京湾クルーズ）」、宿泊コース「箱根・石和方面」の3コースを実施した。また、長時間の外出が困難な方達へ少人数での外出を提供した。

#### (4) [作業]

「就労班（石井園芸）」「室内作業班 A・B（分別作業、もぎり、自主製品）」「みつばち班（外部リサイクル倉庫内分別作業）」「食品加工班（ジャム、クッキー）」「アルミ缶班（缶つぶし、分別作業）」「清掃班（園庭・居住棟内清掃）」の7班とし、利用者の希望や興味、障がい特性を生かせるよう配慮した。

高齢や障がい特性が多様化する中、これまでの作業活動中心の日課を望まない方々への支援が課題となり、検討をすすめている。

#### (5) [設備面]

修繕工事は、川越市排水設備計画に伴う本下水道への本管切り替え工事や、90 人槽浄化槽撤去工事、新作業棟エアコン修理を行った。また、消防法改正に伴い消防署への自動火災報知設備連動工事も行った。備品については、入浴シャワー用車椅子の購入と、4 台の送迎車にドライブレコーダーを設置した。

#### (6) [保健衛生面]

今年度も利用者の健康管理、感染予防に努めたが、インフルエンザ B 型に入所利用者 16 名が感染した。また、入所利用者 7 名の方が疾病等による入院治療を要した。

## 2 利用者状況

### (1) 入退所の状況 (名)

平成30年3月31日

事業別	性別	定員	28年度末現在 在者数	29年度中 入所者数	29年度中 退所者数	29年度末現在 在者数
(入所部)	男	24	24	0	0	24
	女	16	16	2	2	16
	計	40	40	2	2	40
(通所部)	男	-	16	0	0	16
	女	-	9	0	0	9
	計	20	25	0	0	25
計	男	-	40	0	0	40
	女	-	25	2	2	25
	計	60	65	2	2	65

### (2) 入所前の状況 (名)

生活区分 種別	ホーム	アパート	自宅	施設入所	その他	計
(入所部)	0	0	2	0	0	2
(通所部)	0	0	0	0	0	0
日中区分 種別	就労	家事手伝	他の 支援施設	学校	その他	計
(入所部)	0	0	2	0	0	2
(通所部)	0	0	0	0	0	0

### (3) 退所の理由 (名)

生活区分 種別	ホーム	アパート	自宅	施設入所	その他	計
(入所部)	0	0	0	0	2	2
(通所部)	0	0	0	0	0	0
日中区分 種別	就労	家事手伝	他の 支援施設	親愛会 生活介護	その他	計
(入所部)	0	0	0	0	2	2
(通所部)	0	0	0	0	0	0

### (4) 障害支援区分 (名)

支援区分	入所部			通所部		
	男	女	計	男	女	計
区分6	21	12	33	8	5	13
区分5	3	1	4	5	3	8
区分4	0	3	3	2	1	3
区分3	0	0	0	1	0	1
区分2	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0
合計	24	16	40	16	9	25



### 3 安全・安心の確保

#### (1) 防災・防火訓練

回	月 日	訓 練 名	内 容
1	5 月 26 日	日中想定訓練	雨天の為通報訓練のみ実施
2	9 月 26 日	日中想定訓練	消火・避難訓練・水消火器訓練・消防署立会
3	10 月 27 日	日中想定訓練	応急救護講習・消防署立会
4	3 月 23 日	夜間想定訓練	消火・避難訓練・通報・避難訓練

#### (2) 効果

未経験職員を中心に、避難訓練の知識や対応について訓練体験を通して防災、防火への意識を再確認した。

#### (3) 来年の課題

利用者の高齢重度化に伴い入所者の避難方法について等、継続して職員教育や物品の整備を検討していく。

### 4 利用者支援

入所部・通所部ともに、5月にケアプラン作成のため、本人・家族との面談を実施し、利用者・家族のニーズの把握に努めた。また、3か月ごとのケアプランの進捗状況の説明と、プランの見直しを行った。

利用者の障がいや重度・最重度が多く、また、高齢化に伴い転倒等のリスクも高まったため、日常の支援に加え危険回避の支援が必要であった。そのため、主な外出行事への参加方法をすべて小集団とし、安全に安心して参加して頂けるように取り組んだ。また、職員はリスク管理に努め、ヒヤリはっと報告や事故報告の検証を重ね、利用者の安全を第一に考えた。さらに、虐待防止についての内部職員研修の実施や、利用者様個々の支援を振り返る機会を設け、支援の質の向上に努めた。

#### (1) 日中支援の実施状況（人）

[作業]

「就労班」「清掃班」「室内A班」「みつばち班」「室内B班」「食品加工班」「アルミ缶班」の7班編成で支援を行った。

平成30年3月31日

種別	区分	性別	就	清	室	みつ	室	食	アル	計
			労	掃	内	つ	内	品	ミ	
			班	班	作	ち	作	加	缶	
					A	班	B	工	作	
					班		班	班	業	
									班	
(入所部)	男	2	0	11	3	4	1	3	24	
	女	0	0	3	0	6	2	2	13	
	計	2	0	14	3	10	3	5	37	
(通所部)	男	1	2	7	2	2	0	2	16	
	女	0	0	2	1	3	0	3	9	
	計	1	2	9	3	5	0	5	25	

\*入所部女性2名ワークス生活介護を利用 1名静養

[余暇活動]

種別 \ 区分	性別	ソフト ボール	フライ ングデ ィスク	散歩	茶道	手芸	プール	コーラ ス	計
(入所部)	男	2	2	16	1	1	4	4	30
	女	0	1	9	3	1	6	3	23
	計	2	3	25	4	2	10	7	53
(通所部)	男	4	0	10	0	2	7	2	25
	女	0	1	5	1	1	4	3	15
	計	4	1	15	1	3	11	5	40

\*重複者あり

(2) 主な行事の実施状況

月 日	実 施 事 項 等
4月28日	4月買い物外出
5月5日	ゴールデンウィーク昼食バイキング
5月21日	ふれあい福祉まつり
5月28日	ゴミゼロ運動(地域清掃活動)
6月6,23日	選択外出(カラオケ、買い物)
7月28日	納涼祭(園内)
8月9日	お盆在園者イベント(園内)
8月19日	中台まつり
9月21~22日	一泊旅行(箱根・山梨方面)
10月1日	ふれあいピック秋季大会
10月6日	藤の実会祭り
10月8日	スポーツ大会
10月13,20日	日帰り旅行(横浜方面、東京方面)
10月29日	ゴミゼロ運動(地域清掃活動)
10月29日	福祉の市
11月3日	にじの家ふれあい祭り
11月4日	啓和まつり
11月,15,24日	選択外出(映画、工場見学、動物園)
11月11日	日産労連チャリティーコンサート
12月2,3日	障害者週間の集い
12月15日	クリスマス会
12月28日	もちつき
1月4日	初詣
1月13,24日	新年会(通所:作業棟入所、入所:ホール)
1月26日	施設連協利用者交流会(ウエスタ川越)
2月3日	節分
2月23日	選択外出(買い物)
3月9,16日	選択外出(買い物)
3月30日	お茶会(丸広)

### (3) 強度行動障害がい者への支援

国が行っている強度行動障害基礎（実践）の専門研修に職員を派遣した。数名の利用者には、研修に参加した職員が中心となりマンツーマン対応等の支援や、支援手順書兼記録用紙を活用し職員間で支援方法の統一に努めた。

### (4) 余暇活動への支援

毎週木曜日の午後をクラブ活動の日とし、散歩・コーラス・ソフトボール・フライングディスクに分かれて活動を行なった。その他、毎週金曜日はオアシスのプールに行き、茶道と手芸はそれぞれ月1回の活動を行った。余暇班の音楽では月1回音楽セラピーの講師を招いて活動した。クラブ活動に関しては毎回、大勢のボランティアの協力を得ることができた。週末は個別にスーパーへの買い物や招待行事などに参加した。

### (5) 地域との交流

行事については、7月下旬に園内で納涼祭を実施し、ご家族や近隣の方々にも参加しイベントや模擬店などを楽しんでいただいた。また、他施設や地域の祭りや招待行事に参加し、地域との交流を積極的に図った。

昨年度と同様に、ボランティアや実習生の受け入れも積極的に行った。その他、行政機関・教員・民間企業の研修の場の提供や、特別支援学校高等部の職場産業実習も受けた。

## 5 地域社会との共生

### (1) 在宅支援事業の実施状況

#### ア 短期入所事業の実施状況

(入所部)	件数(件)	延べ日数(日)
計	123	725

\* (昨年度 129件 938日)

#### イ 日中一時支援の実施状況

(入所部)	件数(件)	延べ日数(日)
計	152	732

\* (昨年度 145件 790日)

#### ウ 現場実習生の受け入れ状況

区分	特別支援学校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
(入所部)	0	0	0
(通所部)	2	3	12
計	2	3	12

### (2) 地域交流・地域資源の活用について

#### ア ボランティアの受け入れ

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	246	その他(理美容・施設体験ボラ)	35
行事活動(外出引率等)	24		
環境整備(掃除・洗濯等)	76	合計	381

#### イ 地域行事・文化活動への参加

地域の夏祭りや、ゴミゼロ運動、日産労連ミュージカル、他施設のお祭り等に参加した。

## 6 効果的・効率的な施設経営

安心・安全・清潔な環境づくりに努めた。修繕工事は本下水本管切り替え工事、浄化槽撤去工事、老朽化による新作業棟エアコン修理、自動火災報知設備連動工事、食堂内手洗い取替修理、女子棟屋上防水工事等を行った。また備品については、入浴シャワー用車イス購入し、送迎車輛4台にドライブレコーダーを取付た。

## 7 職員研修

### (1) OJT

新任職員1名が入職した。「新任職員について」はグループ制で研修指導を行った。

中堅職員が指導役となったため、中堅職員も再度支援業務を確認する良い機会となった。

### (2) Off-JT

県社協や県発障協の新任研修や中堅研修などに参加した。

### (3) SDS

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士取得を目指し通学講座を受講した。

その結果、精神保健福祉士1名と介護福祉士1名が資格試験に合格した。

## 8 その他

### (1) 実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等（か所）	人数（名）	延べ日数（日）
実習生	20	45	478

\* 中学生社会体験事業2校4名、市役所職員研修2名、市教員研修1名、民間企業新人研修の受け入れも含む。